

# 第19回西東京三田会写真・作品展 作品リスト(2024.9.30～10.6)

配置	氏名	所属	作品種別	題名	サイズ等	コメント
P1	天辻 明	西東京三田会 会員	アクリル画	唐紅色に染まる	59*71	青森県八甲田山の麓にある蔦沼、秋色づいた山の紅葉が水に映る。風が止まる一瞬に美しい水鏡が出来るのです。
P1	天辻 明	西東京三田会 会員	アクリル画	雪深々	60*68	秋田県と青森県の境界辺りにひろがる白神山地は日本でも有数のブナの原生林がある。冬の間は毎年、深い雪におおわれ、冷たく無音の世界となる。
P2	天辻 明	西東京三田会 会員	アクリル画	夏色の水辺	59*71	長野県茅野市の御射鹿池、6月中旬には水辺がすっかり夏模様に、水の色がとても美しい。
W1	伊勢尚一	西東京三田会 会員	木版画	祭	44*36	「趣味無」の繰り返し解消目的に還暦を過ぎてから始めた木版画で勝手気儘な作品作りで楽しんでいます。作品は祭りの賑わいの中に動物たちも飛び入り参加させて村のみんなが自由に楽しむ雰囲気表現しようとしてしました。(版木7版)
W2	伊勢尚一	西東京三田会 会員	木版画	夏祭り	44*36	大賑わいの祭り客が帰宅しひっそりと静まり返った真夜中の神社では狐たちによるこんな光景が見られるかもしれません。(版木8版)
P2	伊勢勝美	西東京三田会 会員家族	ポタニカルアート	ハクウンボク	57*55	ポタニカルアートは「植物学的な絵画」という意味で植物細密画です。植物を科学的に精確に描出すること、実物大に描くこと、背景を描かないこと、植物の持つ特性を変えないことが約束です。
P3	井上京子	西東京三田会 会員	水彩画	カワセミ	44*61	国営武蔵森林公園は季節ごと美しい景色を見せてくれます。この日は沼の倒木で羽を休めるカワセミと出会いました。静謐という言葉を体現している光景でした。
P3	井上京子	西東京三田会 会員	水彩画	礫山美術館	46*37	安曇野にあるこの美術館は地元の力を結集したそれ自体美しい建物群からなります。その中でロダンに強い影響を受けた萩原守衛(礫山)の作品に出会えます。特に作品『坑夫』の持つ生命力には圧倒されました。

# 第19回西東京三田会写真・作品展 作品リスト(2024.9.30～10.6)

W3	上杉さなゑ	西東京三田会 会員	油彩画	ある風景	23*32	かつて、スペイン旅行の際、バルセロナからコスタゴラダ(黄金海岸)の中心都市タラゴナ近くの地中海のバルコニーと言われる小さな半島を遠望してスケッチしました！帰国して、油絵で好きな色で塊りとして描こうと、挑戦した作品です。
P3	上原好子	西東京三田会 会員	写真	MSCペリッシマで夕陽鑑賞	A4	秋の日本一周クルーズ寄港地 秋田沖での神々しい日の入り。
P4	丑山佐枝子	西東京三田会 会員	写真	ひそかな期待を胸に インド・ムンバイ郊外の路上にて	A4	露店商の魚売りのおじさんが、鋭い目つきで野良猫を見張っていました。猫の方はというと、じっと動かず、そっぽを向いて知らんぷり。おこぼれをもらおうとしているのかな？ニヤンともかわいい背中を思わずパチリ。
P4	丑山佐枝子	西東京三田会 会員	写真	映える(ばえる)風船売り インドのチェンナイ マリーナビーチにて	A4	世界で二番目に長いというマリーナビーチで、夜散歩。木造の売店や屋台、メリーゴーランド等がいっぱいで、とにかく賑やか。風船売りのお兄さんが、夜景に映えていて、とてもクールに見えました。
P4	馬道 哲	西東京稲門会 会員	写真	勝敗より熱戦に感動した慶早戦	A4	2024.5.18 東伏見アイスアリーナでアイスホッケー慶早戦。始めて観戦しそのスピード感と熱戦に感動した。
P5	馬道 哲	西東京稲門会 会員	写真	「魔女の瞳」に虹がかかる	A4	2023.10.11 一切経山(いっさいきょうざん1949m)山頂より望む。五色沼(愛称:魔女の瞳)の紅葉と瞳に虹が架かる。
P5	馬道 哲	西東京稲門会 会員	写真	立山一ノ越より望む室堂平 恋人達の夕日	A4	2024.5.2 一面の銀世界の立山室堂平より雪の大谷を望み 登ること2時間 夕日が沈む頃真白な風景が黄金色に輝き それを眺める恋人達は一体何を思うのだろう。
P5	篠崎哲雄	西東京三田会 会員	写真	お城の風景	A4	
P6	篠崎哲雄	西東京三田会 会員	写真	鹿教湯温泉の茸達	A4	

# 第19回西東京三田会写真・作品展 作品リスト(2024.9.30～10.6)

P6	島川恭子	杉並三田会 家族会員	彩墨画	俳句葡萄画	39*36	東京都内の俳句教室に通学した際に、俳句を選び、家族と旅行した上総一の宮の近くの葡萄畑から収穫したぶどう1房を彩墨を使って愛らしく描きました。
P6	島川修子	杉並三田会 会員	鉛筆画	葡萄果物画	45*57	ロイヤルアートスクール銀座校に通学した時に、果物の静物画を師事しました。この葡萄とりんご、かぼちゃ等は、自宅の食卓に集めた果物、野菜たち。家族旅行のお土産です。
P7	高橋久実子	西東京三田会 会員家族	日本画	望郷	53*46	ウクライナの女性がモデルです。平穏な日々が早く戻りますようにと願いつつ、可愛い花模様柄を描きました。
P7	高橋久実子	西東京三田会 会員家族	日本画	古道にて	53*65	切り花をスケッチしたのですが、古道に咲く清純な百合のイメージで描きました。
P8	高橋幸三	西東京三田会 会員	水彩画	千鳥ヶ淵の春	43*55	3月末に絵の題材を探しに北の丸公園に行きました。当日は桜が満開で、田安門の周辺は外国人が大勢観光に来ていてスケッチブックを広げる場所もありません。千鳥ヶ淵には多くのボートが出ていて楽しそうだったので、写真だけを撮って自宅で描いたものです。
P8	高橋幸三	西東京三田会 会員	水彩画	静物	55*44	水彩画のサークルで描いた「花」の作品です。公民館を利用したの教室ですので、モチーフは花が多いと思います。果物と花の組み合わせでモチーフが多すぎるかもしれません。私としては花が余り得意では有りませんが、一生懸命描いてみました。
P8	富上紗生	西東京三田会 会員家族	水彩画	サキちゃん	47*40	長女の娘、5才の時に描いた作品です。我が家に遊びに来ると、絵具をすると言ってお絵を描いています。ある日、マジックを握って絵を描きはじめて自分を描いたと言うので、色鉛筆を塗ってもらいました。水彩絵具でもカラフルな色が好きで自由に塗っています。
W7	高橋信一	西東京三田会 会員	出版物	『古写真研究こぼれ話』 7冊	四六	幕末から明治に掛けて撮影された日本の古写真を研究してフェイスブックで発信しています。その原稿をまとめたものです。今年3月に7巻目を出しました。手に取って開けてみて下さい。芝久保図書館にあります。

# 第19回西東京三田会写真・作品展 作品リスト(2024.9.30～10.6)

P9	田嶋和彦	西東京稲門会 会員	写真	山頂に舞う —湯之奥猪之頭林道(11月)—	四切	富士山西麓の朝霧高原から下部温泉へ抜ける林道の峠付近から飛び立ったパラグライダーが晩秋の西風に乗ってぐんぐん高度を上げてゆく。富士山頂に見えるタイミングでシャッターを切った。偶然にも赤・青・白の機体をとらえた。
P9	田嶋和彦	西東京稲門会 会員	写真	夕留暮色 聖路加タワー(2月)—	四切	午後5時半頃、撮影地に着いた時は混雑しており15分待つ場所を確保しました。室内は照明を暗くする配慮がなされておりましたが、背後のダウンライトが前面のガラスに反射しておりました。影響の少ない場所から撮った一枚です。
P10	宝井繁夫	西東京三田会 会員	写真	早朝の離陸 (カッパドキアの熱気球)	四切W	奇岩の連なりが人気のトルコ、カッパドキアを遊覧する熱気球です。風向きのなどの関係飛行中止が多い中、幸運にも乗船できました。早朝5時のフライトでした。
P10	宝井繁夫	西東京三田会 会員	写真	信州「鹿嶺高原」から仙丈岳を臨む	四切	標高1800m、南アルプスにある鹿嶺高原キャンプ場です。人物のシルエットと青空、南アルプスの山並みのコントラストが印象的でした
W6	福澤博美	西東京三田会 会員	立体造形	ドールハウス	30*30 *40	
P13	三宅正彦	杉並三田会 会員	アクリル画	紫富士	F20	大観山展望台からの芦ノ湖越しの富士山の写真を参考にしましたが、私の中にある幻想的風景です。フォービズム的夕空と、東山魁夷の日本画的静寂から構想しました。これを調和とみるか否かはご自由です。
P12	宮下真由	西東京三田会 会員	写真	僕とウミネコ	A4	気仙沼湾周遊のフェリーを追いかけてくるウミネコさんにおやつをあげました。
P11	宮本敬一	西東京三田会 会員	写真	だるま夕日と富士	A4	東京湾越しに富士山の近くに沈む幸運の「だるま夕日」

# 第19回西東京三田会写真・作品展 作品リスト(2024.9.30～10.6)

P11	山崎俊道	小平三田会 会員	写真	日の出 八ヶ岳 硫黄岳から	A4	6月4日、八ヶ岳の硫黄小屋に泊まり、5日に横岳を縦走しました。4日の夕方はミゾレでしたが5日は快晴、硫黄岳の山小屋近くで朝5時の日の出。
P11	山崎俊道	小平三田会 会員	写真	横岳の縦走路	A4	赤岳まで急な岩場が多いので最近ではヘルメット着用的人也。10時過ぎには東から雲が湧き出て視界は無くなりました。
W4	吉川潔	西東京三田会 会員	水彩画	チェスキークルロフ	40*30	お城の回廊テラスから世界遺産の街並みを眺めながらスケッチしました。
W5	吉川潔	西東京三田会 会員	檜木彫	ひめ林檎の精	30*20	今年4月の個展に向けて制作した中の1点です。果樹、植物の妖精を沢山創っています。
P12	吉川敏子	西東京三田会 会員家族	写真	ベットの墓地 チェコ プラハ	A4	プラハの歴史に、当時のユダヤの人たちの暮らしに、思いを馳せながら撮りました。
P12	吉川敏子	西東京三田会 会員家族	写真	シナゴグ チェコ プラハ	A4	プラハの歴史に、当時のユダヤの人たちの暮らしに、思いを馳せながら撮りました。
P13	若松裕子	杉並三田会 会員家族	日本画	赤い月夜	F10	これまで塔や石壁を好んで描いておりましたが、ここ数年は山を人の姿に見立てて描いております。
P14	黄瑾萱 9才	中国(西東京市日中友好協会)		作品1『夢を築く新時代』	A3	2024東京国際ドリームアートコンクール(西東京市日中友好協会・エクラアニマル共催: <a href="https://anime.or.jp/concours.html">https://anime.or.jp/concours.html</a> )参加作品。 梁启超(中国の偉人)は『中国少年説』の中で「少年強ければ国強し」と述べました。子供は祖国の花、民族の未来、家庭の希望です。
P14	殷晟皓 10才	中国(西東京市日中友好協会)		作品2『私の小さな世界を見に来てください!』	A3	画面の中のものはすべて私の生活で私を支えてくれるものです。また、神秘的な宇宙にとっても興味があるので、星のポスターも描きました。
P14	金煥俊 7才	韓国(西東京市日中友好協会)		作品3『満開』	A3	花のような年頃に、私たちは自分のために咲き誇り、自分にエールを送り、やりたいことをやりましょう!

# 第19回西東京三田会写真・作品展 作品リスト(2024.9.30～10.6)

P15	郭庚言13才	中国(西東京市日中友好協会)	作品4『烟火気』	A3	絵の中の私は、美食街を歩いていて、おいしい食べ物の香りに引き寄せられました。誰がおいしい食べ物を愛さないでしょうか？
P15	姚卓希10才	中国(西東京市日中友好協会)	作品5『景』	A3	ここは私が訪れた場所で、万物の美しさに感嘆し、世界の広さと人類の小ささを実感しました。
P15	詹子彧11才	中国(西東京市日中友好協会)	作品6『童話の森の姫』	A3	人と自然の奇妙な相互作用を感じると同時に、水資源を保護し、環境を大切にし、地球という家を守ることの重要性を私たちに思い出させてくれます。
P16	周天	中国・天津のアーティスト(エクラアニマル関係者)	作品7『饕餮盛宴(上)』	A3	この作品は、人々が中国古代神話の神獣、饕餮(とうてつ)のように食べ物を貪欲に求める様子を表現しています。
P16	周天	中国・天津のアーティスト(エクラアニマル関係者)	作品8『饕餮盛宴(下)』	A3	この作品は、人々が中国古代神話の神獣、饕餮(とうてつ)のように食べ物を貪欲に求める様子を表現しています。